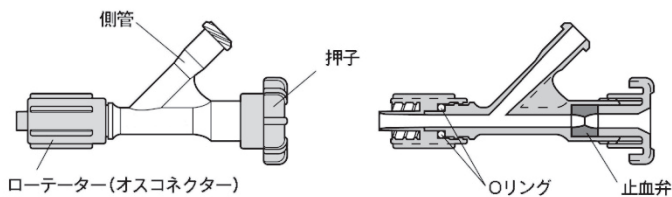


アンプラストーC Yコネクタ

再使用禁止

- ** **【禁忌・禁止】**
＜使用方法＞
** 再使用禁止、再滅菌禁止

- ** **【形状・構造及び原理等】**
* ＜構造図（代表図）＞



- ** 原材料：ポリカーボネート
シリコンゴム

* **【使用目的又は効果】**

＜使用目的＞

本品は血管造影や血管内手術等の際、血管内処置診断用カテーテルに接続して、カテーテルからの血液漏れを防ぐと同時に、圧力測定及び造影剤の注入等を行うために用いる。

* **【使用方法等】**

1. 本品の準備

- (1) 本品を包装から取り出す。
- (2) 本品の側管に延長チューブや三方活栓等を取り付け、シリンジ等を用いてヘパリン加生理食塩液で内部をフラッシュする。
- (3) 本品をカテーテルに接続し、シリンジ等を用いてヘパリン加生理食塩液で内部をフラッシュし、エアをすべて除去する。
- (4) 押子を反時計方向に回して止血弁を開け、本品内部及び止血弁をヘパリン加生理食塩液でフラッシュした後、押子を時計方向に回して止血弁を閉める。

2. 本品の操作

- (1) 押子を反時計方向に回して止血弁を開け、押子からカテーテル等を挿入する。
- (2) カテーテル等を留置、保持する際は、押子を時計方向に回して止血弁を閉める。
- (3) 造影剤の注入あるいは圧力の測定等は、本品の側管を通して行う。
- (4) 手技終了後は、押子を反時計方向に回して止血弁を緩め、挿入したカテーテル等を抜去する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. カテーテル等の挿入には、側管を使用しないこと。[カテーテルの破損、切断を起こす可能性がある。]
2. 止血弁を閉める際は、強く締めすぎないこと。[止血弁あるいはカテーテル等の破損を起こす可能性がある。]
3. 本品内部、特に止血弁部分が血液に満たされた状態で長時間放置しないこと。[本品内部で血液が凝固する可能性がある。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 手技にあたっては、患者の状態を考慮して適切な抗凝固、あるいは抗血小板療法を行うこと。[血栓性塞栓等の合併症の可能性がある。]
2. 消毒用アルコール等、有機溶剤を含む薬剤への浸漬、又は薬剤による拭き取りを行わないこと。[本品が破損する可能性がある。]
3. 本品内に気泡が認められた場合は、シリンジ等で気泡を除去すること。[気泡が存在する状態での操作により、血管の空気塞栓が生じる可能性がある。]
4. 本品を通して挿入するカテーテルは、本品の最大適用カテーテル径を超えないこと。[本品内のエア抜き及び止血弁部の血液のフラッシュができず、血管の空気塞栓や血栓性による血管の塞栓を起こす可能性がある。]
5. 最大適用カテーテル径4.2Fr.仕様はアテレクトミーカテーテルを使用しないこと。[止血弁が破損し血管の塞栓を起こす可能性がある。]
6. 本品にインデフレーター等の加圧装置を使用して1520kPa（15atm／221psi）以上の圧力をかけないこと。[本品Yコネクタのローテーター部のシール不良等が起きる可能性がある。]

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

